

リモートによる取組

特別活動の指導にあたっては、その方法原理である「なすことによって学ぶ」直接体験が基本ですが、適宜コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用して、活動の質を高めることができます。

この集会は、全校から募集したクイズを放送室からライブで出題する形式で行いました。

ICT活用の ポイント

・運動場や体育館で 行う集会のように移動したり、集まったりする時間を省略することができ、時間いっぱい活動することができました。



<小学校・全校リモートクイズ大会>

企画委員会の児童が
全校から募集したクイズの入った
ボックスに手を入れ、問題を選んでいる様子

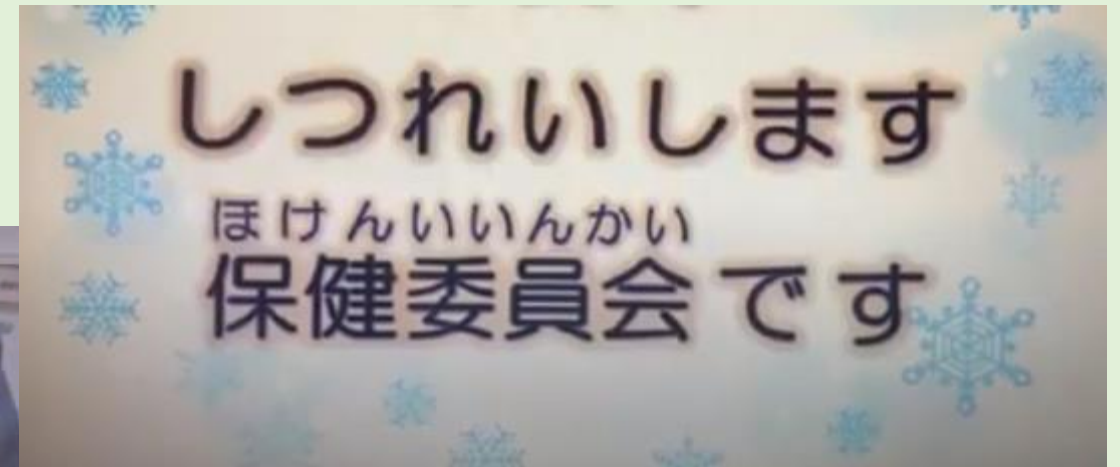
児童は 自分の つくった
クイズが 読まれるか ワクワクしながら
参加することが できました

委員会活動 ～委員会からのCM～

コロナ禍における委員会活動は、活動に制限が生まれてしまいます。本来であれば、常時活動のほかに体育館などで集会を開き、全校生を前に活動内容の紹介や報告・広報をしていましたが、それもできなくなりました。そこで、本校の保健委員会では、手洗いやマスクについて動画で収録し、全クラスへ配信することで、全児童に広報することができました。 <小5～6・委員会活動>

ICT活用の ポイント

- ・ビデオカメラで録画するよりも、児童と同じ端末で収録すれば、後の配信が簡単になります。



クラブ活動 ～プログラミング・クラブ～

クラブ活動は、異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動であり、学校の創意工夫により、コンピュータクラブ・プログラミングクラブなどを設けて、コンピュータやプログラミングに興味・関心を有する児童が協力してプログラムを作成するなどの活動を実施することが考えられます。

<小4～6・クラブ活動>



ICT活用のポイント

- ・児童はBlockly GamesやViscuit、Scratchで遊んだり、micro:bitを使ったりする活動に取り組むことができました。



初めて micro:bit を使う活動でしたが、みんなで考えながらプログラムを組んで楽しんでいました。